

10. 和歌山市の取り組みに対しての満足度・重要度について

問51 和歌山市の市政一般の満足度と重要度

問51 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？

満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

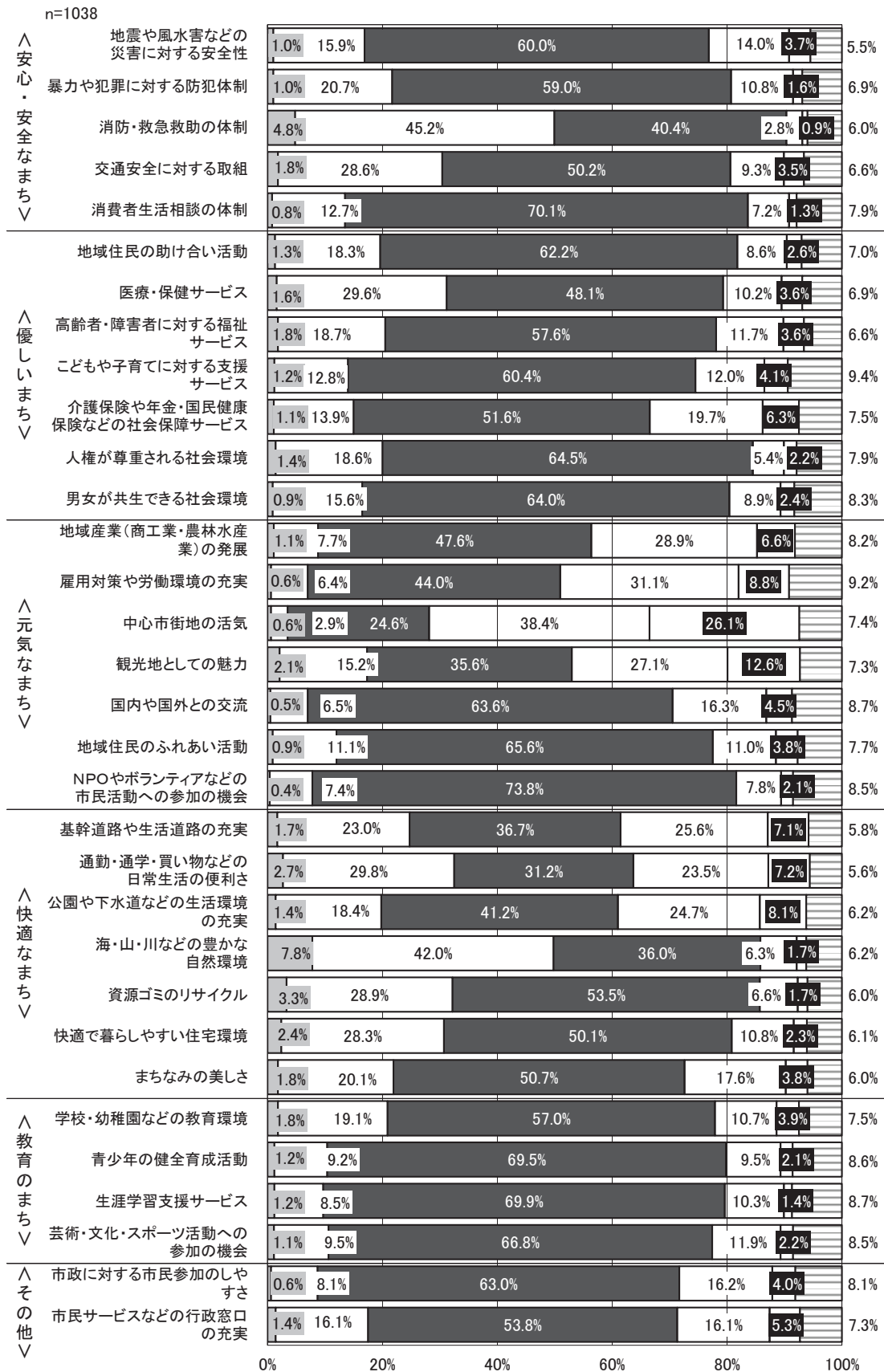
満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満

重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない

5. 全く重要ではない

安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	消費者生活相談の体制
優しいまち	地域住民の助け合い活動
	医療・保健サービス
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	こどもや子育てに対する支援サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
	人権が尊重される社会環境
元気なまち	男女が共生できる社会環境
	地域産業(商工業・農林水産業)の発展
	雇用対策や労働環境の充実
	中心市街地の活気
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	地域住民のふれあい活動
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	公園や下水道などの生活環境の充実
	海・山・川などの豊かな自然環境
	資源ごみのリサイクル
	快適で暮らしやすい住宅環境
	まちなみの美しさ
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
	生涯学習支援サービス
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
その他	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

【満足度】



【満足率・不満率】

和歌山市の市政一般の満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）の高い項目は順に、「消防・救急救助の体制」（50.0%）、「海・山・川などの豊かな自然環境」（49.8%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（32.5%）、「資源ゴミのリサイクル」（32.2%）、「医療・保健サービス」（31.2%）となっており、「安心・安全なまち」と「快適なまち」に係わる項目の満足率が高めとなっている。

不満度（「不満」と「非常に不満」を合わせた計）の高い項目は順に「中心市街地の活気」（64.5%）、「雇用対策や労働環境の充実」（39.9%）、「観光地としての魅力」（39.7%）、「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」（35.5%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（32.8%）となっており、「元気なまち」に係わる項目の不満率が上位4位を占めている。

<性別>

満足率の上位5位について、性別にみると、男性は「交通安全に対する取組」（32.5%）、女性は「快適で暮らしやすい住宅環境」（33.8%）の順位が高めとなっている。

不満率の上位5位について、男性は「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」（38.3%）、女性は「観光地としての魅力」（41.4%）の順位が高めとなっている。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1038)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 50.0%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 49.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.5%	・ 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 32.2%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 31.2%
男性 (n=452)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 51.8%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 49.8%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 32.5%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.1%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 31.2%
女性 (n=569)	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 50.3%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 48.5%	・ 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 33.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 33.5%	・ 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 33.4%

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1038)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 64.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 39.9%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 39.7%	・ 地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【元気なまち】 35.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 32.8%
男性 (n=452)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 64.0%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 42.5%	・ 地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【元気なまち】 38.3%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 37.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.3%
女性 (n=569)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 65.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 41.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 38.7%	・ 地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【元気なまち】 34.1%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.6%

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の満足率は「非常に満足」と「満足」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に満足」と「満足」の割合を合計した数値と一致しない。（不満率も同様）

※注①と②は以降のページも同様である。

<年代別>

満足率の上位5位の項目について年代別にみると、20～59歳は「海、山、川などの豊かな自然環境」が1位であるのに対して、60歳以上は「消防・救急救助の体制」となっている。30～59歳は「快適で暮らしやすい住宅環境」と「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が、60歳以上は「資源ゴミのリサイクル」が、80歳以上は「医療・保健サービス」と「快適で暮らしやすい住宅環境」の順位が高めとなっている。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=12)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 <p>50.0%</p>		<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 学校・幼稚園などの教育環境 【教育のまち】 <p>41.6%</p>		
20～29歳 (n=76)	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 <p>52.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 <p>39.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 <p>28.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> まちなみの美しさ 【快適なまち】 <p>26.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 <p>23.7%</p>
30～39歳 (n=112)	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 <p>64.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 <p>40.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 <p>33.1%</p>		
40～49歳 (n=148)	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 <p>52.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 <p>49.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 <p>39.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 <p>37.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 <p>31.8%</p>
50～59歳 (n=165)	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 <p>45.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 <p>41.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 <p>24.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 <p>24.2%</p>	
60～69歳 (n=257)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 <p>53.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 <p>46.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 <p>37.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 <p>35.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 医療・保健サービス 【優しいまち】 <p>30.0%</p>
70～79歳 (n=202)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 <p>59.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 <p>50.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 <p>44.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 <p>42.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 <p>34.7%</p>
80歳以上 (n=55)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 <p>58.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 <p>45.5%</p>		<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 <p>41.8%</p>	

<地域別>

満足率の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も上位2位は「消防・救急救助の体制」と「海・山・川などの豊かな自然環境」で共通している。中心部は「快適で暮らしやすい住宅環境」、南部と河西部は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、東部は「医療・保健サービス」、東南部と河北部は「資源ゴミのリサイクル」の順位が高めとなっている。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=274)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 55.1%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 54.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 36.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 35.8%	・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 35.0%
南部 (n=139)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 47.4%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 44.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 30.2%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 25.2%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 20.8% ・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 20.8%
東部 (n=140)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 49.3%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 42.2%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 31.4%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 30.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 27.9% ・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 27.9%
東南部 (n=93)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 59.2%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 52.7%	・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 41.9%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 38.7%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 37.6%
河西部 (n=278)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 50.7%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 46.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 36.3%	・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 35.6%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 32.8%
河北部 (n=98)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 54.1%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 47.0%	・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 31.7%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 31.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 28.5%

<年代別>

不満率の上位5位の項目について年代別にみると、いずれの年代も1位は「中心市街地の活気」で共通している。2位は18～19歳が「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、20～29歳、60歳以上は「観光地としての魅力」、30～59歳は「雇用対策や労働環境の充実」となっている。

【不満率(「非常に不満」と「不満」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=12)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 50.0%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 41.7%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 41.6%	・ 高齢者・障害者に対する福祉サービス 【優しいまち】 ・ 市民サービスなどの行政窓口の充実 【その他】 33.3%	
20～29歳 (n=76)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 68.4%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 52.7%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 43.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 40.8%	
30～39歳 (n=112)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 69.6%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 50.9%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 43.7%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 42.9%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 39.3%
40～49歳 (n=148)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 65.6%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 46.0%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 37.8%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 35.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 32.5%
50～59歳 (n=165)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 73.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 55.2%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 50.3%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 46.1%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 44.3%
60～69歳 (n=257)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 67.7%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 44.0%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 42.8%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 39.7%	・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 34.6%
70～79歳 (n=202)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 52.0%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 28.2%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 24.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 22.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 21.3%
80歳以上 (n=55)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 54.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 30.9%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 25.4%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 23.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 21.8%

<地域別>

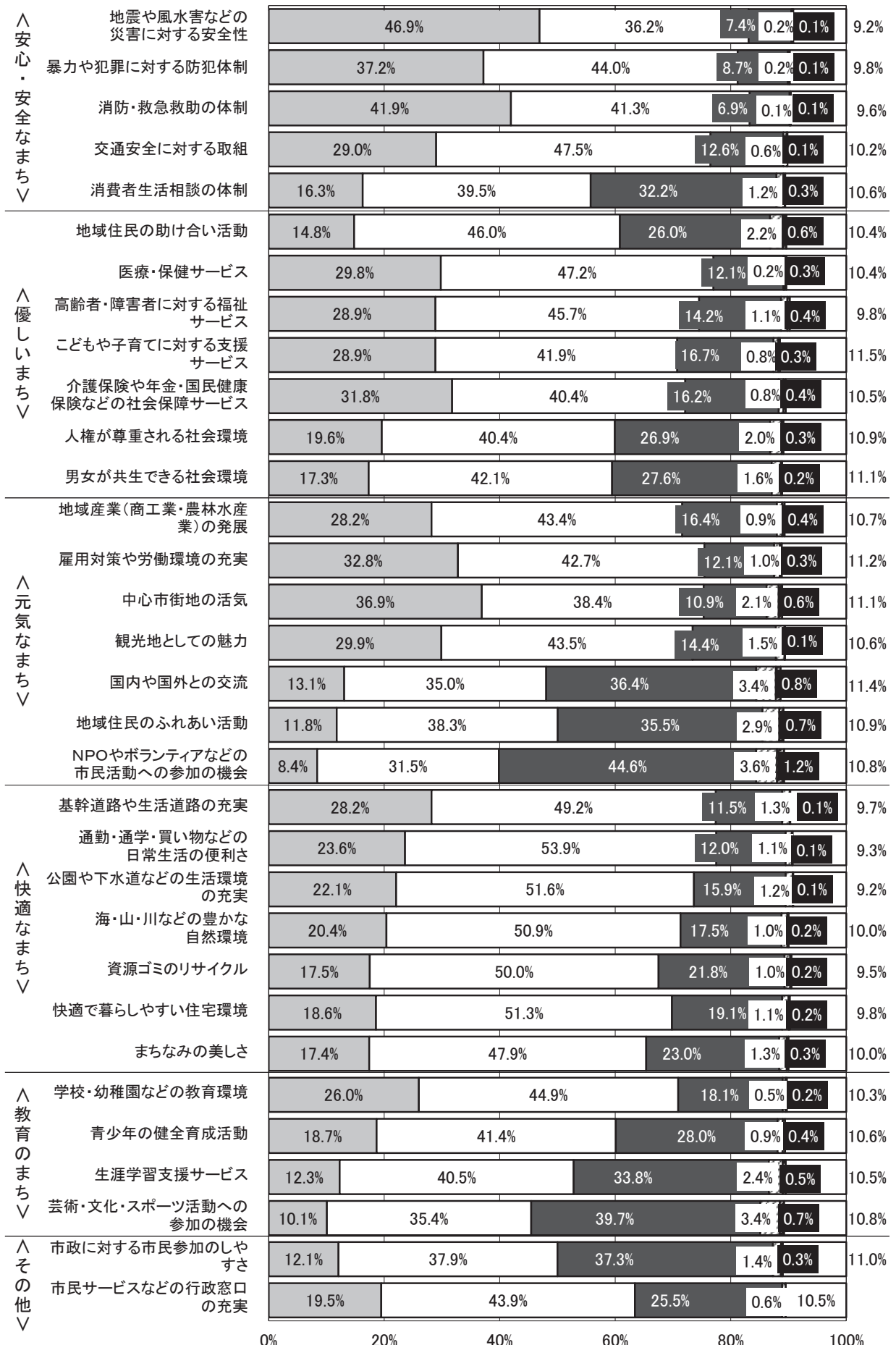
不満率の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」で共通している。2位は中心部と河北部は「観光地としての魅力」、南部、東南部、河西部は「雇用対策や労働環境の充実」、東部は「公園や下水道などの生活環境の充実」となっている。

【不満率(「非常に不満」と「不満」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=274)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 69.0%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 43.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 41.3%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 40.5%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 31.4%
南部 (n=139)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 64.7%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 41.8%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 38.1%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.7%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 32.4%
東部 (n=140)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 60.0%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 40.7%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 39.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】	35.7%
東南部 (n=93)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 60.2%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 36.6%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】	35.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 32.3%
河西部 (n=278)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 63.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 41.3%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 40.2%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 36.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 34.9%
河北部 (n=98)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 69.4%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 44.9%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 42.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 41.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 37.8%

【重要度】

非常に重要
 重要
 どちらとも言えない
 あまり重要ではない
 全く重要ではない
 不明



【重要率】

重要率の高い項目は順に「消防・救急救助の体制」（83.2%）、「地震や風水害などの災害に対する安全性」（83.1%）、「暴力や犯罪に対する防犯体制」（81.2%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（77.5%）、「基幹道路や生活道路の充実」（77.4%）となっており、“安心・安全なまち”、“快適なまち”に係わる項目の重要率が高めとなっている。

<性別>

重要率の上位5位について、性別にみると、上位3位は全体と同様の項目となっている。次いで男性は「基幹道路や生活道路の充実」（76.6%）、「医療・保健サービス」（76.4%）、女性は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（80.4%）、「交通安全に対する取組」（79.0%）となっている。

【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1038)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 83.2%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 83.1%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 81.2%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 77.5%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 77.4%
男性 (n=452)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 82.9%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 82.5%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 82.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 76.6%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 76.4%
女性 (n=569)	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 84.3%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 84.2%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 81.0%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 80.4%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 79.0%

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の重要率は「非常に重要」と「重要」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に重要」と「重要」の割合を合計した数値と一致しない。

※注①と②は以降のページも同様である。

<年代別>

重要率の上位5位の項目をみると、18～19歳は“優しいまち”“快適なまち”に関する項目が1位となっている。20～29歳、40～69歳、80歳以上は3位までが「消防・救急救助の体制」、「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」で共通している。30～39歳は「医療・保健サービス」、70～79歳は「基幹道路や生活道路の充実」、「交通安全に対する取組」の順位が高めとなっている。

【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=12)	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 ・子どもや子育てに対する支援サービス 【優しいまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 				<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 ・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 ・高齢者・障害者に対する福祉サービス 【優しいまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】
				83.4%	83.3%
20～29歳 (n=76)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地としての魅力 【元気なまち】 ・雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 	
	89.5%	88.2%	85.5%		84.2%
30～39歳 (n=112)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】
	88.4%	86.6%	85.7%	84.9%	83.9%
40～49歳 (n=148)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】
	90.6%	85.8%	85.1%	84.4%	83.1%
50～59歳 (n=165)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】
	88.5%	87.8%	85.5%	83.6%	81.8%
60～69歳 (n=257)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の活気 【元気なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】
	87.6%	86.4%	85.2%	81.3%	79.4%
70～79歳 (n=202)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】
	71.8%	69.8%	68.3%	67.8%	67.3%
80歳以上 (n=55)	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 	
		74.5%	72.8%		70.9%

<地域別>

重要率の上位5位の項目をみると、いずれの地域も“安心・安全なまち”に関する項目が上位となっている。中心部と南部は「医療・保健サービス」、東部と東南部は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、河西部は「基幹道路や生活道路の充実」、河北部は「基幹道路や生活道路の充実」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」の順位が高めとなっている。

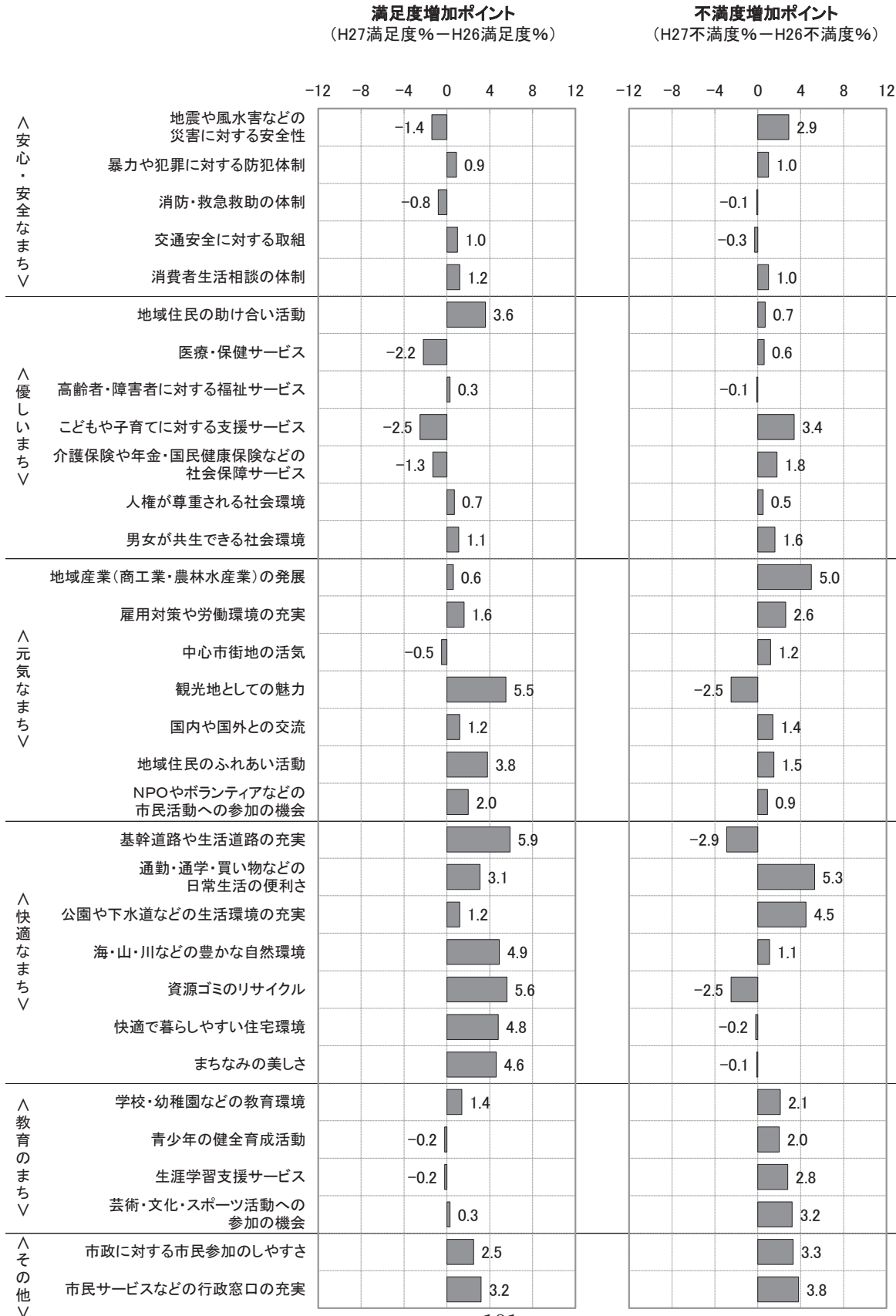
【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=274)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 86.5%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 85.7%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 84.3%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 80.0%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 79.6%
南部 (n=139)	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 86.3%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 82.0%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 80.6%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 77.7%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 77.0%
東部 (n=140)	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 82.2%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 ・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】	81.5%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 80.8%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 79.3%
東南部 (n=93)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 83.9%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】	79.6%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 78.5%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 77.4%
河西部 (n=278)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 83.4%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 82.0%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 80.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 80.6%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 75.9%
河北部 (n=98)	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 85.7%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】	81.6%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 80.6%

【満足度：前年度の比較】

平成26年度と平成27年度の満足度（「非常に満足」、「満足」の割合）の変化は、「基幹道路や生活道路の充実」、「資源ゴミのリサイクル」、「観光地としての魅力」が5ポイント以上増加している。

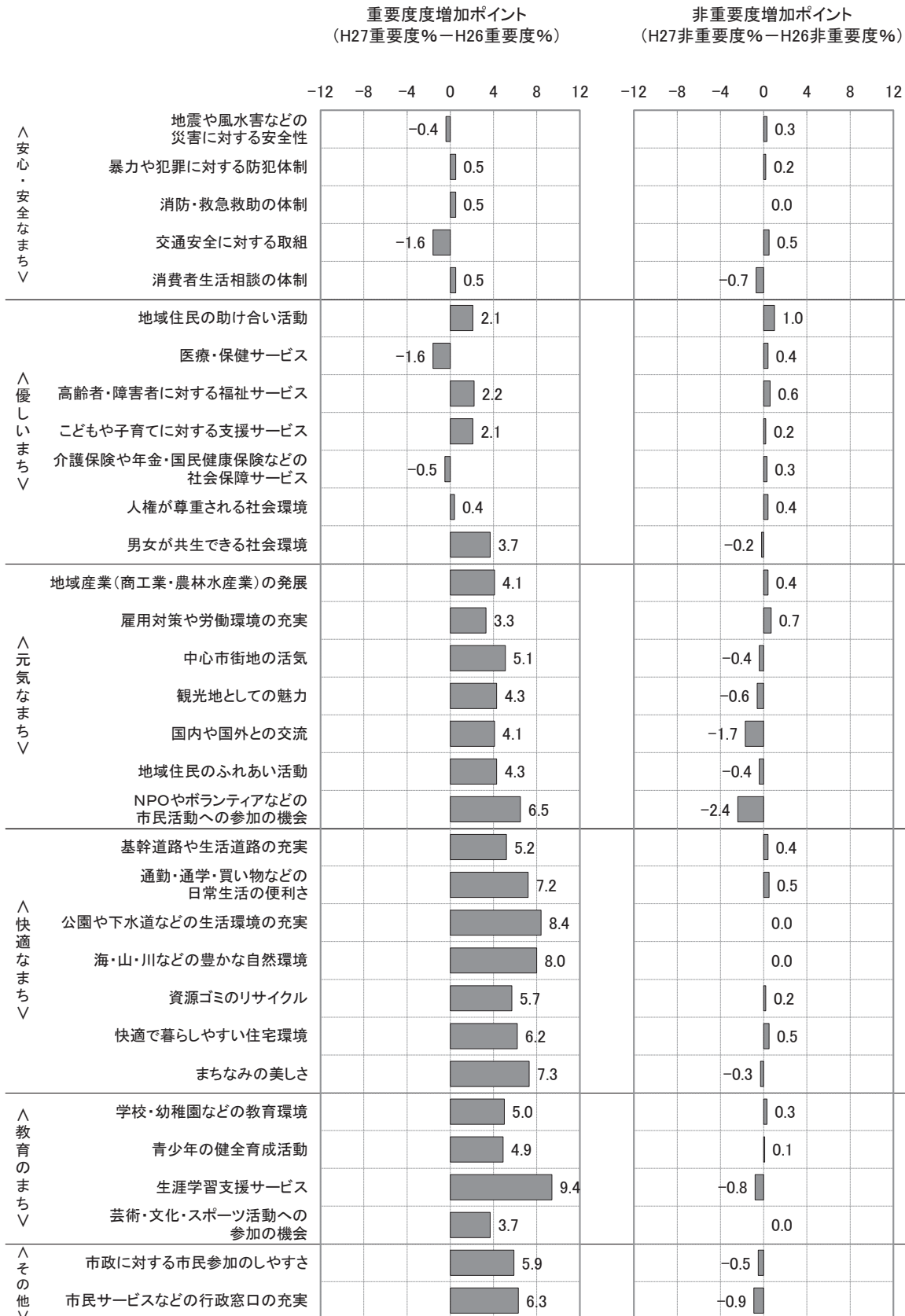
不満足度（「非常に不満」、「不満」の割合）の変化は、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」が5ポイント以上増加している。



【重要度：前年度の比較】

平成26年度と平成27年度の重要度（「非常に重要」、「重要」の割合）の変化は、“快適なまち” “その他”に関する全ての項目が5ポイント以上増加、“元気なまち”、“教育のまち”に関する全ての項目が3ポイント以上増加している。特に「生涯学習支援サービス」は9.4ポイント増加している。

非重要度（「あまり重要でない」、「全く重要ではない」の割合）については大きな変化はみられなかった。



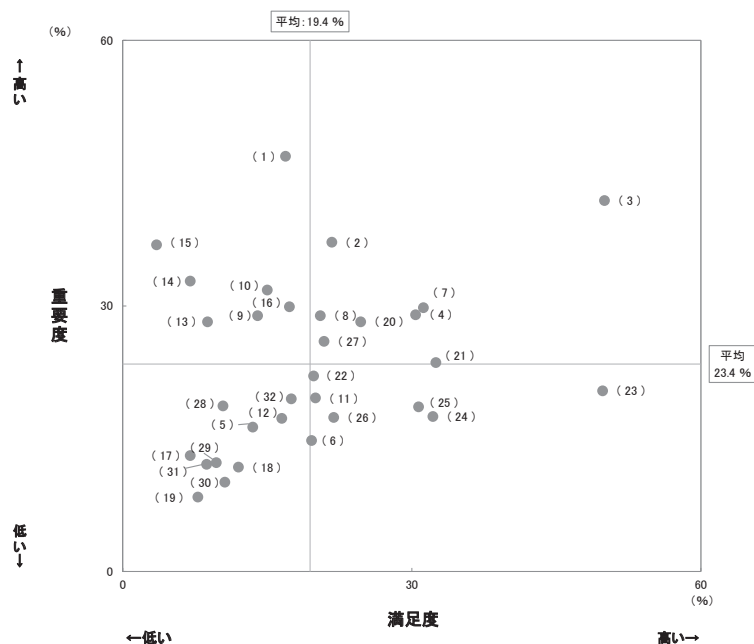
【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が満足度を 10.0 ポイント以上上回る項目は「(15) 中心市街地の活気」「(1) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(14) 雇用対策や労働環境の充実」、「(13) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」「(10) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(2) 暴力や犯罪に対する防犯体制」、「(9) こどもや子育てに対する支援サービス」、「(16) 観光地としての魅力」の 8 項目である。

満足度が重要度を 10.0 ポイント以上上回る項目は「(23) 海・山・川などの豊かな自然環境」、「(24) 資源ゴミのリサイクル」、「(25) 快適で暮らしやすい住宅環境」の 3 項目である。

凡例	項目名	満足度計	重要度
(1)	地震や風水害などの災害に対する安全性	16.9	46.9
(2)	暴力や犯罪に対する防犯体制	21.7	37.2
(3)	消防・救急救助の体制	50.0	41.9
(4)	交通安全に対する取組	30.4	29.0
(5)	消費者生活相談の体制	13.5	16.3
(6)	地域住民の助け合い活動	19.6	14.8
(7)	医療・保健サービス	31.2	29.8
(8)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	20.5	28.9
(9)	こどもや子育てに対する支援サービス	14.0	28.9
(10)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	15.0	31.8
(11)	人権が尊重される社会環境	20.0	19.6
(12)	男女が共生できる社会環境	16.5	17.3
(13)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	8.8	28.2
(14)	雇用対策や労働環境の充実	7.0	32.8
(15)	中心市街地の活気	3.5	36.9
(16)	観光地としての魅力	17.3	29.9
(17)	国内や国外との交流	7.0	13.1
(18)	地域住民のふれあい活動	12.0	11.8
(19)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	7.8	8.4
(20)	基幹道路や生活道路の充実	24.7	28.2
(21)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	32.5	23.6
(22)	公園や下水道などの生活環境の充実	19.8	22.1
(23)	海・山・川などの豊かな自然環境	49.8	20.4
(24)	資源ゴミのリサイクル	32.2	17.5
(25)	快適で暮らしやすい住宅環境	30.7	18.6
(26)	まちなみの美しさ	21.9	17.4
(27)	学校・幼稚園などの教育環境	20.9	26.0
(28)	青少年の健全育成活動	10.4	18.7
(29)	生涯学習支援サービス	9.7	12.3
(30)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	10.6	10.1
(31)	市政に対する市民参加のしやすさ	8.7	12.1
(32)	市民サービスなどの行政窓口の充実	17.5	19.5



※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。